

子どもの命を守り生きる力を 育む黒潮町民会議

子どもを取り巻くあらゆる事象から子どもの命を守り、子どもの成長に地域総力がかりで関わり、ふるさとへの貢献意識を育てることを目的に10月28日(金)、「子どもの命を守り生きる力を育む黒潮町民会議」がふるさと総合センターで開催され、町内各団体などから約70人が参加しました。

会議では、高田香さんによる「子どもたちの明るい未来のために」朝顔に願いを込めて」と題した講演が行われ、事故当日から刑事裁判までの経過や、「けんちゃん朝顔」の活動のお話、大人にできることなどを語っていただきました。

実践報告では、南郷小学校の坂本恭美子校長より「セーフティプロモーションスクール(PPS)の認定について」と題した報告がありました。



講演を行う高田香さん

実践報告を行った坂本校長は、「PPSがどういふものかをお知らせすることができた。学校の1つの事例として報告するだけでなく、町全体で広げていければ」と話しました。

くろしおサッカーデー

11月6日(日)、土佐西南大規模公園でFC KUROSHIO 84、大方高校女子サッカー部、大方FC、Arco Racans Cの4団体が共催し「くろしおサッカーデー」が開催されました。

同イベントは、町内におけるサッカーの普及を目的に開催され、保育園児、小学校低学年、小学校中学年、中学生の4グループで約90人が参加し、約30人の指導者とともに1時間程度のサッカースクールを行いました。



学校の様子

とがなない練習もできて、良い経験になった。楽しかった」と話しました。

黒潮町陸上マスタース・交流大会

11月6日(日)、土佐西南大規模公園で「黒潮町陸上マスタース・交流大会」が開催され、約70人が参加しました。

50m走、100m走、走り幅跳びなどの陸上競技や、子どもから大人までが参加できるボール投げやわなげ、綱引きなどの親睦競技が行われました。

ボランティアや、親睦競技に出場した大方中学校元気会の小谷杏留さんは、「久しぶりに元気会の活動ができた。みんなと交流できて良かったし、いろいろな競技にも出られて楽しかった」と話しました。



親睦競技の様子



陸上競技の様子

人も多く集まってきた。自分も出場して、思った以上に成果が出た。来年もぜひ開催できれば」と話しました。

大方高校防災デー

11月18日(金)、大方高校で「防災デー」が開催されました。

同イベントは、被災体験を聞くことから震災時の恐怖や困難を疑似体験し、今後の防災活動や被災時の避難所運営について考え、実践することで災害に備える意識を育むことを目的として開催されました。

岩手県釜石東中学校OBの紺野堅太さんを講師に迎え、講演会が行われました。その後、全校生徒を17班にわけ、避難訓練および各班に用意された、消火訓練やけが人の応急処置、避難所情報の張り出しなど、さまざまなミッションも行われました。

同イベントで運営を担当した地域創造コース3年生の佐野元気さんは、「思っていたより忙しかったが、なんとか自分たちで対処できた。今回のイベントでわかったことをさらに改善し、今後の活動に活かしていきたい」と話しました。



消火訓練を行う生徒

同イベントでわかったことをさらに改善し、今後の活動に活かしていきたい」と話しました。